



★修学旅行のまとめ（2学年）★

1月末に行われた修学旅行は関西地方の寒い中の旅行となり、時々体調面で気になる生徒もおりましたが、天気には恵まれ、奈良や京都自主学习、USJなど、全行程を無事に活動することができました。修学旅行における保護者や先生方、旅行社やお世話になった旅館など、関係した皆さまに感謝申し上げます。週明けとなり、2学年では修学旅行のまとめを行っております。



【修学旅行を終えて】～生徒の振り返り～ ※一部修正・抜粋

・この3日間で、友達とより仲を深めることができたし、一人一人集団意識をもって行動することができていたのでよかったです。特に2日目の京都学習では、電車の乗り方を知ることができたし外国人に席を譲ることができたので自分自身も成長したなと思いました。ユニバでは、自分たちで時間配分をして次の計画を立てたり助け合ったりして、とても楽しむことができました。この旅で学んだことや成長したことを生かし、最上級生に向けて頑張りたいです。(2-2大城杏慈)

・修学旅行の思い出はユニバです。友達といろんなアトラクションに乗ったり食事をしたりして一番の思い出ができました。京都の自主学习では、開始早々トラブルがあったりして大変だったけど、3時までに旅館に帰って帰ることができました。英語でインタビューをして京都の魅力も探ることができました。クラスで成長したなと思ったことは整列です。最初は2組が遅れて他のクラスを待たせていたけど、それに気づいてみんなが整列を早くすることを意識してできていました。修学旅行を通してクラスの絆が深まったり、レクはみんなで盛り上がり学年の絆が深まり、とてもいい修学旅行だったなと思いました。めあては100%達成というわけではないけど、私の2年生で一番の思い出になりました。(2-2具志堅湖娃)

・一日目の移動中は、飛行機やバスの中でもマナーを守り、学級や班で協力することができた。でも学年全体の課題で、話が聞けなかったり整列して歩くことができなかったから班長として頑張ろうと思った。京都の自主学习は、先生方がいない中での行動で不安しかなかった。乗るバスを間違えるなどのハプニングもあったけど、予定していた場所全部に行くことができたから、班で頑張って協力できたと思う。レクは、トラブルがあって40分くらいしかなかったけど、それをみんなでカバーするように学年全員で盛り上げて笑顔が多くなった。個人的には、最後にみんなで校歌を歌ったのが印象に残った。三日目はこのメンバーで行ける最初で最後のユニバを楽しむことができてとても思い出に残った。学校づくまでのバスも楽しかった。修学旅行を通して、本土の文化やマナーについて学んだし、自分の小学校時代は少ない人数だったから、大人数の修学旅行を本中のみんなと経験できて、嬉しかったし楽しかった。(2-1上原一花)

・修学旅行では1日目から飛行機に乗ったり、奈良の鹿や大仏を見たりして少し疲れたけど、奈良のよさを知ることができました。2日目は、京都の町や食べ物の文化を学ぶことができ、本当によかったです。3日目は、USJでたくさん遊び、最終日にふさわしい思い出をたくさん作ることができてよかったです。(2-1石川翔太)

・一番の思い出はユニバです。ユニバは家族で行ったことはあったけど、友達と行くことこんなに楽しいのだと改めて実感しました。みんなでしっかり団体行動もできたし、1年のころよりも成長しているなと思いました。スマホがなくても楽しかったし、友達と夜遅くまでたくさん話しちゃったけど、それもとてもいい思い出だなと思います。自主学习も不安だったけど、みんなで満員のバスに乗ったことや口に合わないソフトクリームを食べたことは、一生の思い出です。外国の人にもたくさんインタビューできました。そのために清水寺に2回も行ったのは今思うとおかしかったです。飛行機からの景色もすごくきれいだったし、嫌だと思っていたバス移動もたくさん歌が聞けて盛り上がりとても楽しかったです。家族がいない3日間は、なぜか変な感じだったけど、友達といることの楽しさに改めて気づくことができ、一生の思い出です。(2-3木村結那)

・公共の場の行動や時間を守ることができたので、社会に出ても守れる大人になりたい。2日目は3階の男子全員が集められて先生に怒られたので、ダメなことをしている人を見つけたら注意できるようにしたいです。そのあとのレクでは切り替えて、てつ先生とTダンスで学年全員を盛り上げることができたのでよかったです。帰りの飛行機は、ジェットコースターやフライングダイナソーと一緒に感覚で楽しかったです。学校ではたくさんの人に迎えられ嬉しい気持ちになりました。旅行では、3、4人でも一人でも行動することに自信が持てて成長したことを感じました。この3日間で学習したたくさんのことを家族や親せきに伝え、この思い出をずっと大切に残留しておきたいです。

(2-3江藤鈴睦)

